

第 1 回徳島市民病院経営健全化推進会議議事録

日時 令和 5 年 2 月 2 日（木）午後 3 時～
 場所 徳島市民病院医局カンファレンスルーム
 出席者 18 人（委員 10 人、事務局ほか）
 傍聴人 6 人

- 1 開会
- 2 委員の紹介
- 3 会長・副会長の選任
- 4 会長就任あいさつ
- 5 病院事業管理者あいさつ
- 6 議事

(1) 徳島市民病院の現況について	
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 5 「徳島市民病院の現況について」に沿って説明。 ・本院の基本情報、特色ある医療、主な経営指標について説明。
(2) 徳島市民病院経営強化プラン（令和 5 年度～令和 9 年度）の骨格（案）について	
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 6 「徳島市民病院経営強化プラン（令和 5 年度～令和 9 年度）の骨格（案）」に沿って説明。
(3) 徳島市民病院経営強化プラン（令和 5 年度～令和 9 年度）（素案）について	
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 7 「徳島市民病院経営強化プラン（令和 5 年度～令和 9 年度）（素案）」に沿って説明。 ・「策定の趣旨など」について説明。 ・「I 地域における役割と機能を果たすために」について説明。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナや新興感染症に関する国の方針の変化に対して、病院としてどのような対応を行う予定なのか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナについては、国や県の指示に従って対応を行う。新興感染症が発生した場合は、現在コロナ専用病棟として活用している病棟を

	<p>新興感染症専用の病棟に転用することを想定しているが、感染拡大時に転用しやすいスペースの確保も検討中である。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の問題について、感染症に対して専門性を持った医師や看護師の確保はできているか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関しては認定看護師が現在2名。新たに1名を養成中。医師は内科医が感染制御医師（ICD）として従事している。今後も養成は続ける。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期医療については民間病院との連携、お産の集約化に取り組んでいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「Ⅱ 次代を担う医療人を育てるために」について説明。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・研修医の定員を達成したとのことだが、具体的にはどのような取り組みを行ったのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・医学実習生に対しての挨拶を始め、面倒見良く指導を行うことに力を入れている。今回は定員7名に対して15名の応募があった。面接を行う中で、市民病院が職員から一番挨拶をしてもらえて嬉しかったという声が多かった。医学実習だけでなく、その後の初期臨床研修においても丁寧な指導を心がけている。
事務局	<p>「Ⅲ 安心・安全な医療のために」について説明。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に関して、A水準取得の見通しは立っているのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間を基準内（時間外労働 960 時間以下）に抑えることは可能だが、そうした場合に夜間は救急対応ができない可能性があるなど、地域の救急医療体制が維持できなくなることを危惧している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特定認定看護師は何名いるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在2名。今後も増やしていく予定。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用することで、どのような形で業務改善に繋がるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「阿波あいネット」では、患者さんの診療情報や画像情報を加盟病

	<p>院で相互に閲覧することが可能となり、医療の質向上や災害時にも活用が可能である。その他、紹介状を電子上で送受するシステムを導入しているほか、国が推奨する電子処方箋の整備を進めている。</p>
事務局	<p>「IV 健全な経営のために」について説明。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・手術支援ロボットの導入予定はあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・導入予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる診療控えの影響はどの程度か。また、収入が減少した分はどのようにカバーしていくのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介患者数はコロナ前に比べて大きく減少している。広報活動の強化や救急患者を積極的に受け入れることで実績回復に努める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・診療控えに関する具体的な数値について、コロナ前の令和元年度と比較した令和4年度実績（4～10月）を報告させていただく。 外来入院収益が△15,528千円（△2.2%） 1日平均外来患者数が△17.8人（△4.0%） 1日平均入院患者数が△29.2人（△11.2%） 月平均救急患者数が△139人（△19.6%） となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ関連の補助金が廃止されることを想定して、補助金無しでも健全な経営が維持できる経営シミュレーションを行っていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、アフターコロナを想定しながら経営改善に向けて取り組んでいく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、麻酔科医を志望する学生が増加している。市民病院では外科手術も多いと思われるが、依然として麻酔科医の需要はあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、麻酔科医の人数は足りていない。今後、手術件数の増加や夜間救急の維持を目指していく中で麻酔科医は必要不可欠であるため、引き続き確保に努めたい。